

令和6年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県国際健康プラザ 健康課

2 施設所在地
富山市友杉151番地

3 施設設置年度
平成11 年度

4 設置目的
すべての県民が健やかでやすらぎのある生活を送ることができるよう、県民の健康に対する意識の向上及び県民一人一人の健康づくりを支援し、併せて、国内外に向けて健康づくりに関する情報を発信する。

5 施設概要
敷地面積：10.7ha（イタイイタイ病資料館を含む）
主な施設
・生命科学館：1,756㎡
・健康スタジアム：トレーニングゾーン、屋内プールゾーン等 5,024㎡
・屋外健康づくり施設：トリムコース、じゃぶじゃぶ池等 約6万㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県健康づくり財団

7 指定期間
3 年
令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R2	R3	R4	R5	R6
72,738	111,139	144,055	164,160	168,631

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R2	R3	R4	R5	R6
13,691	28,669	39,299	46,732	52,050

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R2	R3	R4	R5	R6
88,949	88,949	89,150	89,150	89,150

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・国際健康プラザの総利用者数は令和5年度比102.7%増、健康スタジアムの利用者数は令和5年度比108.1%増となった。
・床工事のため休止していたプール・バーデゾーンは8月から再開し、利用者数は増加した。
・大スタジオ床工事を10月下旬から3月末まで実施したが、トレーニングゾーンを生命科学館オープンスペースに移設し営業は継続したため、大きな混乱はなく、利用者の落ち込みもみられなかった。
・障害者とその介助者、とやまっ子パス(県の第4子以上誕生祝い事業)の利用料金を減免した。
・障害者と介助者22,519人(令和5年度比100.2%) ・とやまっ子パス3,589人(令和5年度比125.6%)

(2) サービス向上に向けた取組み

・平成18年度からの「利用者モニター会議」や平成22年度からの「お客さまの声」の箱に寄せられた要望等を踏まえ、利用者サービスの向上を図っている。
・令和5年度において年6回開催していた「健康チェックの日」を令和6年度は年12回開催し、手ごろな料金で健康度を測定できる機会を設けた。
・近隣の健康増進センターと連携し、健康増進センターで実施する特定保健指導受診者のうち希望者に対して、健康スタジアム利用券を配布し、特定保健指導の運動実践をサポートした。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・平成12年度から県内遠方からでも利用できるよう団体の無料送迎を行っている。
・平成17年度から「市町村の日」を設定し、当該市町村民に施設半額利用サービス等を提供している。
・令和5年度から行っていたプールバーデゾーン床改修工事が終了し、令和6年8月12日の再開に合わせ、屋外プールの利用促進も兼ねたサービスとして、再開から5日間、本数限定でお子様連れの利用者に深層水由来のイオンウォーターを進呈した。
・大スタジオ床工事を令和6年10月下旬から令和7年3月末まで実施したが、トレーニングゾーンを生命科学館オープンスペースに移設し営業を継続した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	「お客さまの声」の箱を設置し、アンケート用紙を随時回収
回答者数	142件
結果	・土日の時間を長くしてほしい。 →6月から土曜日の営業時間を延長した。 ・障害者用の駐車場に一般の人が停めている。 →定期的に見回りを行い、場合によっては貼紙による注意を行うこととした。
結果を踏まえた改善事項	・アンケートを回収した時点で対応を検討し、必要な事項についてはできるだけ早急に改善を図っている。 ・また、個別に回答すべき点については、掲示板で回答している。

②その他利用者の声を反映させる取組み

・公募モニター(11名)によるモニター会議を年2回開催し、施設の運営方法等について説明を行うとともに、意見・要望を聴取し、施設運営に反映させている。

③主な苦情と対応

・風呂の扉を閉めない人がいる。→既設の注意書きを変更した。
・天井の表面が剥がれているところがある。→修繕実施予定。

(5)個人情報保護の取組み

・個人情報に関する指針を定めて、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6)関係団体との連携

県内の運動型健康増進施設等32施設で構成する「富山県健康増進施設連絡協議会」において、カスタマーハラスメントや認知症と思われる利用者対応等について意見をとりまとめ、情報を共有した。

(7)施設・設備の維持管理

・適切に管理されている。

(8)危機管理・安全管理などの取組み

・富山市消防局と連携した防火訓練の実施
・危機管理マニュアル等に基づくAED講習会の実施(12月,3月)
・コロナ下において健康スタジアムを営業するに当たり、新型コロナウイルス感染拡大防止マニュアル(入館時受付チェック、スタジアム内の消毒、感染者発生時の対応等)を策定(令和2年度)

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	3
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

なし

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・施設や設備、備品の老朽化が進んでおり、計画的な修繕・更新が必要
- ・市町村、企業等への利用促進による県内全域からの幅広い年齢層の利用の促進
- ・関係団体、施設との連携による健康増進の中核施設としての機能強化
- ・イベントの実施等による施設の一層の周知
- ・健康づくりに関して集積した情報やノウハウの公開
- ・「市町村の日」の活用をさらに呼びかけるとともに、利用可能日の拡充
- ・効率的な運営に向けた業務の見直しによる費用の削減徹底
- ・利用料金の決済方法の多様化に向けた、キャッシュレス決済の導入